

部分的中枢性尿崩症のウサギの1例

小沼 守^{1, 2)†} 近藤広孝¹⁾ 石川 愛¹⁾ 小野貞治²⁾ 上木万里子²⁾
石田智子²⁾ 渋谷 久¹⁾ 佐藤常男¹⁾

1) 日本大学生物資源科学部 (〒252-8510 神奈川県藤沢市亀井野1866)

2) 埼玉県 開業 (おぬま動物病院: 〒343-0823 埼玉県越谷市相模町2-108)

(2008年10月14日受付・2009年3月3日受理)

要 約

6歳齢, 体重1.28kg, 去勢雄の雑種ウサギ (*Oryctolagus cuniculus*) が, 多飲多尿を主訴に来院した。飲水量は正常の約6倍の760ml/頭/日, 尿量も正常の1.5倍の530ml/頭/日, 尿比重は1.001と低比重尿が確認された。除外診断後, 修正水制限試験により部分的中枢性尿崩症が疑われ, 点鼻型合成バソプレシン誘導体による治療 (1滴, 24hr) を行ったところ, 尿比重が中央値1.020, 飲水量が中央値346ml/頭/日, 尿量が中央値200ml/頭/日と改善した。よって本症例を部分的中枢性尿崩症と診断した。——キーワード: ウサギ, 尿崩症, バソプレシン。

----- 日獣会誌 62, 717~719 (2009)

† 連絡責任者: 小沼 守 (おぬま動物病院)

〒343-0823 越谷市相模町2-108

☎048-989-9898 FAX 048-989-9890

E-mail: oosagamiacc2001@rc4.so-net.ne.jp